

履修について

「履修」とは、規定された学科や課程を学び終えることです。大学を卒業するためには、いくつかの条件やルールがあり、それに従って学修することを意味します。

「履修」は、みなさんが決定し、それを大学に申告することから始まります。大学では、高校までと異なり履修や学生生活に関するすべてのことが自分の責任に委ねられます。

それだけに各自が履修制度について十分な理解のもと履修することが望まれます。

●履修するに当たって

1)計画的に履修すること

国際地域学部は、「教養科目」「専門科目」、こども教育学部は、「教養科目」「共通専門教育科目」「教職専門教育科目」「専門教育科目」から卒業するために必要な一定の単位数を修得しなければなりません。シラバス(講義概要・授業計画)や時間割を参考にして、適切な計画を立ててください。

1年間あるいは1学期間に履修できる単位数には上限が設けられており、必ず履修すべき科目や選択して履修すべき科目が教育方針に基づいて配当されています。なお、年度によって開講される科目が異なりますので、1年間あるいは1学期間の履修計画を立てるときには、同時に次年度以降における履修計画も合わせて考える必要があります。

2)系統的に科目を履修すること

大学における学業は、一定の単位数を修得することによって完了します(その単位のことを卒業要件単位と呼び、修得の仕方は多くの組み合わせがあります)。明確な学修目的を持たずに単に決められた単位数を数字の上でそろえるだけの履修では、たとえ4年間在学しても、大学の卒業としてふさわしい能力と識見を持つことはできません。従って自らの学修目的にあわせて各科目の目的、内容や開講学期を考慮しながら系統的に履修する必要があります。

3)自主的に学修をすること

十分な学修成果を上げるためには、単に教室で講義を聞くだけでなく、講義そのものに積極的な姿勢で臨むとともに、講義以外に自主的な学修が必要です。教室での講義時間の2倍あるいはそれ以上の自主的な学修が行われてはじめて満足な理解が可能となります。そのため、シラバスによって指示されたテキストは必ず準備しましょう。テキスト・参考図書等をはじめ、関連図書をよく読んで理解を深めることが望まれます。また、講義を聞き、参考図書・関連図書でも理解できない点については、直接教員に質問し、理解を深めることも大切です。

履修登録について

指定された期間に各自でパソコンまたは携帯電話・スマートフォンから登録を行ってください。

この手続きは本人が行わなければならない、この登録を怠った場合は、たとえ授業・定期試験等を受けても単位は認定されませんので十分注意してください。

●履修登録上の注意

・履修登録は、定められた期間内に行います。

- ・時間割上、同時限に2科目以上の登録はできません。
- ・すでに単位を修得した科目は登録できません。
- ・単位が修得できなかった場合、再履修することが可能です。ただし、その年次の時間割によって履修不可能になることもあるので、注意してください。

※該当者のための特別措置は行いません。

●履修変更について

一度履修登録した科目を変更する場合は、指定された期間内のみ変更を認めています。
期間外の変更は一切認められないので、注意してください。

●履修取消について

指定された期間内のみ取消をすることができます。取消をする場合はゼミ担当教員に相談をした上で、「履修取消届」を教務課に提出してください。履修取消については、授業担当教員にも連絡してください。この期間は取消以外の履修変更をすることはできませんので、注意してください。

●履修登録について

履修は学内、学外を問わずインターネット上、どこからでも履修登録することができます。
また、学生ポータルサイトよりアクセスすることも可能です。

・アクセス・ログインについて

・Web 履修登録サイトURL

<https://suzukadaigaku->

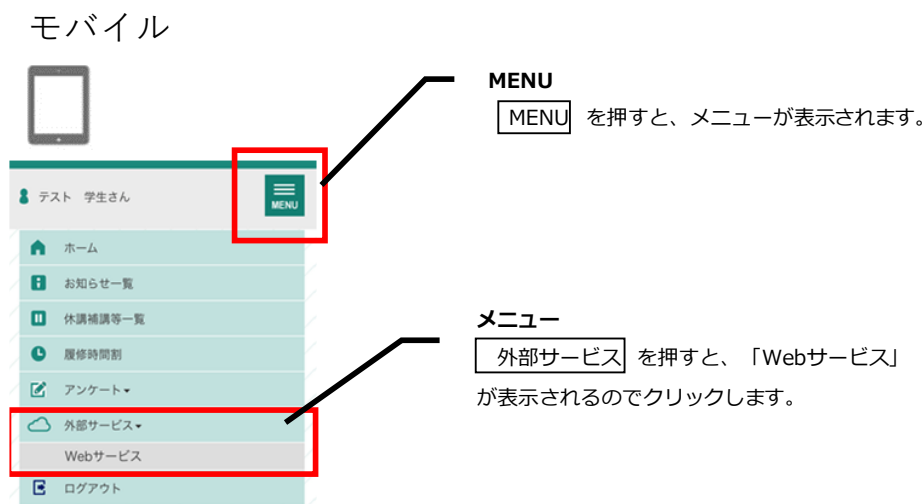
[web.campusplan.jp/gakusei/web/CplanMenuWeb/UI/LoginForm.aspx](https://suzukadaigaku-web.campusplan.jp/gakusei/web/CplanMenuWeb/UI/LoginForm.aspx)

・学生ポータルサイトからのアクセスについて

Web サービスをクリックすると CampusPlan にアクセスできます。

・履修登録サイト QR コード →





・履修登録に関する相談窓口について

履修登録を行う上で、疑問や不明な点またはシステムによるエラーがあれば、教務課に問い合わせてください。

〔窓口対応時間〕

月曜日から金曜日 9:00～17:00

〔電話・メールでの問合せ〕

TEL:059-372-3989(教務課 直通)

E-Mail:kyomu@suzuka.ac.jp

授業科目区分について

本学の授業科目は、次のいずれかに指定され、各年次に配当されています。

必修科目	必ず修得しなければならない科目です。 この科目の単位が未修得の場合は、卒業要件単位数を修得していても、卒業することができません。開講される年次に修得しておかないと履修の機会を失うことがあります。
選択科目	自由に選んで履修できる科目です。

単位の修得について

履修科目の単位修得は、原則として試験によって行います。試験は、定期試験期間にて行われます。

試験実施方法については、筆記試験またはレポート、成果発表などによって行います。

それぞれの授業科目で成績評価方法は異なりますので、必ずシラバスで確認してください。

成績評価について

●成績発表

定期試験終了後、学期ごとの成績発表日に学生ポータルサイト等にて確認してください。

●単位の認定

- 1) 各科目について、成績が60点以上得た者を合格とし、所定の単位を与えます。
- 2) 前期開講科目は前期に、後期開講科目は後期に、合否を決定します。
- 3) 各科目の成績は100点満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とします。

本学における評点と評価との関係は次のとおりです。

評価	点数	合否
S	100点～90点	合格
A	89点～80点	合格
B	79点～70点	合格
C	69点～60点	合格
D*	59点～50点	不合格
D	49点～ 0点	不合格
E	—	不合格

※授業実施回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価はE(不合格)となる。

- 4) 追再試験の成績は次のとおりです。

- ・追試験の場合、100点満点とします。
- ・再試験の場合、60点を超えないものとします。

5) 卒業に必要な科目および単位数を修得しない場合は、卒業を延期とします。

CAP制度について

CAP 制度とは、各学期に履修登録する際、その登録科目数(単位数)の上限を定めた制度です。

半期に履修登録できる単位数は22単位以内です。ただし、前学期までの累計GPAが2.80以上の場合は、24単位まで登録することができます。

また、以下の科目は履修登録単位数の上限には含まれません。

- ・集中講義科目
- ・その他学部が指定する科目

GPA制度について

GPAとは Grade Point Average の略で、科目の評価をグレードポイント(GP)に換算し、1単位当たりのグレードポイントの平均値を算出するものです。GPAは、みなさんが学修の成果を振り返るための指標になります。

本学では通算GPAを利用しているため、履修した各科目の評価を下表のGPに換算し、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の単位数の合計で除して算出します。

評価	GP
S	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
D	0
E	0

●GPA の計算方法

100点満点の評点を0から4.0までの5段階のGPに置き換えて、GPに単位数を乗じた数値の総和を登録単位数の総和で除したものがGPAとなります。

また、「D」「E」となった場合、GPが0とカウントされるため、GPAを下げることになります。従って、履修登録した科目を履修しないことになった場合は、履修変更・取消期間中に必ず登録の削除を行ってください。

$$\text{GPA} = \frac{4.0 \times \text{S 修得単位数} + 3.0 \times \text{A 修得単位数} + 2.0 \times \text{B 修得単位数} + 1.0 \times \text{C 修得単位数}}{\text{総履修単位数(D・Eを含む)}}$$

国際地域学部 進級要件・卒業要件について

●4年次進級要件(国際地域学部・全学生対象)

4年次へ進級するためには、次の要件を満たさなければなりません(鈴鹿大学学部履修規程第14条(進級要件))。

「4年次演習Ⅰ」を履修できる者は、80単位以上修得し、かつ「3年次演習Ⅰ」及び「3年次演習Ⅱ」の単位を修得した者に限ります(修得単位数の多寡にかかわらず、「3年次演習Ⅰ」または「3年次演習Ⅱ」の単位が修得できなかった時点で1セメスターの卒業延期となります)。

●3年次進級要件(3年次長期インターンシップ参加学生のみ)

長期インターンシップに参加するためには、1年次の参加希望調査で参加希望と回答し、履修が承認されることが必要です。

また、承認された学生が3年次に長期インターンシップを履修するためには、以下の3年次進級要件をすべて満たさなければなりません(鈴鹿大学学部履修規程第14条(進級要件))。

・2年次までの以下の必修科目をすべて修得

必修語学科目	合計8単位
初年次教育Ⅰ・Ⅱ	合計4単位
課題解決型(PBL)科目	合計4単位
情報科目	合計4単位
基礎教育科目	合計10単位(三重・鈴鹿学を含む)
キャリア形成支援科目	合計8単位
国際地域概論	2単位

・「インターンシップ事前研究」、「インターンシップ事前教育」合計4単位修得済

・総修得単位数70単位以上

・累計GPA2.0以上

●卒業要件

本学を卒業するためには、4年以上在学し(休学期間を除く)その教育課程に沿って卒業所要単位を修得しなければなりません。また、卒業予定者は「4年次演習Ⅱ」において以下に示す「卒業研究」に取り組む必要があります。

・卒業研究

すべての「4年次演習Ⅱ」履修者は、以下に示す「卒業研究」に取り組み、これを単位修得条件とします。

1) 履修者は「卒業研究レポート」を提出し、「卒業研究発表」をおこないます。

2) 「卒業研究レポート」は本文3,600字(A4判1枚40文字×30行)程度とします(注・参考文献は本文の文字数に含めない)。

- 3) 「卒業研究レポート」の締め切りは12月第1週(第11回)の授業日とします。
- 4) 「卒業研究発表」を12月中(第12回～第13回授業)に各ゼミでおこないます。
- 5) 各ゼミの優秀者は1月(第14回授業)の学部全体の「卒業研究発表会」で発表することができます。「卒業研究発表会」は全学に向けて広く周知され、学部の下級生も発表を視聴することができます。

《国際地域学部 国際地域学科》

●2026年度入学生対象 卒業要件

教養科目	語学科目	英語科目	一般学生は、「Oral Communication I～Ⅳ」の8単位修得すること。
		日本語科目	外国人留学生もしくは日本語を母語としない学生は「日本語と日本社会」「日本語の文章技法」「日本語と日本文化」「日本語の表現技法」の8単位修得すること。
		外国語科目	4単位以上修得すること。
	情報科目		「コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ」を含む4単位以上修得すること。
	初年次教育科目		「初年次教育Ⅰ・Ⅱ」の4単位修得すること。
	課題解決型学習(PBL)科目		「課題解決型学習Ⅰ・Ⅱ」の4単位修得すること。
	基礎教育科目(全学共通)		3分野(〈地域と社会〉、〈人間と文化〉、〈自然と芸術〉)からそれぞれ2単位以上(「三重・鈴鹿学」必修、〈スポーツ〉は選択)、計10単位以上修得すること。
	キャリア形成支援科目		「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「キャリアマネジメントⅠ・Ⅱ」の8単位修得すること。
	教養科目から以上の条件を含め42単位以上修得すること。		
専門科目	専門基礎科目		「国際地域概論」を含む20単位以上修得すること。
	専門発展科目		30単位以上修得(実践キャリア科目を含む)すること。
	実践キャリア科目		※承認された学生のみ履修可能
	専門演習科目		「3年次演習Ⅰ・Ⅱ」「4年次演習Ⅰ・Ⅱ」の8単位修得すること。
	専門科目から以上の条件を含め72単位以上修得すること。		
最低必要単位数 124単位			

※教養科目の日本語科目は、外国人留学生もしくは日本語を母語としない学生に限り履修することができます。日本語科目を語学科目の必修科目に選択した場合、「Oral Communication I～IV」を履修することはできません。また日本語を母語とする学生が日本語科目を履修しても、単位修得とみなされません。

※カリキュラムの詳細については、国際地域学部カリキュラム表を参照してください。

●2026年度3年次編入学生対象 卒業要件

専門科目	ビジネス領域	所属領域から領域共通科目6単位以上を含め、40単位以上修得すること。
	グローバルコミュニケーション領域	
	演習科目	3年次演習Ⅰ・Ⅱ、4年次演習Ⅰ・Ⅱを修得すること。
領域共通科目を含む専門科目から以上の条件を含め62単位以上修得すること。		
最低必要単位数 124単位(うち62単位は一括認定とする)		

※カリキュラムの詳細については、CAMPUS GUIDE 2024の国際地域学部カリキュラム表(P71～P75)を参照してください。

※「国際地域概論」は3年次編入学生に限り必修科目ではありません。

※教養科目の必修科目はすべて修得済みとみなします。

こども教育学部 卒業要件

2026年度入学生対象 こども教育学科

教養科目		「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」4単位、「情報処理Ⅰ・Ⅱ」2単位、 「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」2単位、「初年次教育Ⅰ・Ⅱ」2単位、 「スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ」2単位 以上の必修科目12単位を含め、26単位以上修得すること。
共通専門教育科目		4単位以上修得すること。
教職専門教育科目		13単位以上修得すること。
専門教育科目	幼稚園教諭・保育士コース 小学校教諭コース 養護教諭コース	39単位以上修得すること。
	演習	「ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」8単位を修得すること。
すべてのカリキュラム(必修科目は除く)から34単位以上修得すること。		
最低必要単位数 124単位		

※カリキュラムの詳細については、こども教育学部 カリキュラム表を参照してください。

取得できる資格

■国際地域学部で取得できる資格

スポーツコーチングリーダー(旧コーチングアシスタント)
アシスタントマネジャー
公認スポーツ施設管理士
公認スポーツ施設運営士
フィットネスクラブ・マネジメント技能士3級
公認野球指導者 基礎Ⅰ U-12・U-15

■こども教育学部で取得できる資格

幼稚園教諭一種免許状
小学校教諭一種免許状
中学校教諭一種免許状 教科・保健
高等学校教諭一種免許状 教科・保健
養護教諭一種免許状
保育士証
スポーツコーチングリーダー(旧コーチングアシスタント)

大学院 修了要件について

本大学院において修士課程修了の資格を得るには、2カ年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文を在学期間中に提出して、その審査および最終試験に合格しなければなりません。

ただし、在学期間に関しては、研究科が別に定めるところにより、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとすることができます。

修士課程の修了に必要な最低単位数は30単位であり、カリキュラムは以下の通りです。

大学院 カリキュラム表

2026年度入学生適用

科目区分	科目名	配当年次	単位数	
			必修	選択
国際学専門科目	国際学特論	1・2		2
	論文執筆法	1・2		2
	比較政治研究	1・2		2
	文化人類学特論	1・2		2
	環境学特論	1・2		2
	ビジネスマネジメント特論	1・2		2
	ビジネスエコノミクス特論	1・2		2
	ビジネスコンサルティング特論	1・2		2
	観光経営特論	1・2		2
	観光まちづくり特論	1・2		2
	観光イノベーション特論	1・2		2
	スポーツ組織経営学特論	1・2		2
	スポーツ組織経営学演習	1・2		2
	スポーツビジネス経営学特論	1・2		2
	スポーツビジネス経営学演習	1・2		2
	教育学特論	1・2		2
	言語教育学特論	1・2		2
論文	研究指導Ⅰ	1・2	2	
	研究指導Ⅱ	1・2	2	
	論文指導Ⅰ	1・2	2	
	論文指導Ⅱ	1・2	2	
	修士論文(もしくは修士論文の審査に代わる特定の課題についての研究成果)	1・2	8	
(備考) 修了要件 (1) 大学院生は、自己の研究テーマに応じて必要な国際学専門科目を14単位以上取得しなければならない。 (2) 修了に必要な単位数は、30単位以上とする。 (3) 研究指導4単位、論文指導4単位及び修士論文(もしくは修士論文の審査に代わる特定の課題についての研究成果)8単位の計16単位を必修とする				